

2019年8月8日

## トラックドライバー用アプリの導入について

当社では、貨物駅構内におけるトラックへの荷役作業の円滑化、安全性の向上と、貨物駅構内に入出入りする利用運送事業者様のトラックドライバーの作業利便性の向上を図るため、トラックドライバー向けアプリ（名称・未定）を導入することとし検討を進めています。

### 1. トラックドライバー用アプリの概要（機能）

このアプリにより、貨物駅へのコンテナ持込み、持出し時間の事前予約やリアルタイムでのコンテナの位置、貨物列車遅延情報等をトラックドライバーに常時提供できるようになります。

- (1) 貨物列車の位置・遅延情報
- (2) コンテナの位置情報（地図情報）
- (3) 駅からのお知らせ情報
- (4) コンテナ持出・持込時の荷役時間の予約機能

### 2. 効果

- (1) 列車位置情報のリアルタイム確認  
トラックドライバーが駅外でも列車の遅延情報を確認することができるようになり、輸送サービスが向上します。
- (2) コンテナ探索のスマートフォン上での操作  
駅構内のコンテナを探索する機能及びフォークリフトオペレーターとトラックドライバーがシステムを介して意思疎通できる機能を導入することにより、駅構内で降車する機会を削減し、駅構内の安全性を向上させます。
- (3) 駅からのお知らせ機能による各種情報の提供  
駅が作業番線や入線時刻変更などの情報を提供することで、トラックから降車することなく各種情報を確認することが出来ます。
- (4) コンテナ積込積卸作業の事前予約によるトラック待機時間の短縮  
列車の荷役とトラックの荷役が重なる時間帯など、駅構内で作業が集中する時間帯があり、トラックの待機時間を増大させる原因となっています。このため、荷役作業の事前予約機能を導入することにより、トラックの待機中のアイドル運転によるドライバーの負担やCO2排出を減らします。  
また、コンテナホームに入るトラック台数を調整することでトラック同士やリフトとトラックの接触事故が発生するリスクを低減させ、コンテナの品質向上に寄与します。

### 3. イメージ

別添参照。

### 4. スケジュール

2020年度下期（具体的な月は未定）に順次試使用を数駅で開始する予定です。その時点では「コンテナ持出・持込時間の予約」「列車遅延情報」「コンテナ位置情報」「駅情報の提供」の機能を先行してリリースします。その後、機能改修を行いながら2021年度の本稼働を目指して段階的に機能のリリースを行っていく予定です。

**トラック用アプリ実現予定機能①**

① 列車位置・遅延情報参照機能

列車位置、遅延情報機能の提供（配達伝票のバーコードとの連携）

19D-XXXX の現在位置

列車番号: 4071  
始発日: 2019/2/1

現在位置  
石山(滋賀県)～草津(滋賀県)

19D-XXXX 積載列車の遅延情報

遅れ 0分(遅延無し)

配達伝票のバーコードを読み込ませることで、関連する列車の位置、遅延情報を提供します  
(手入力での検索も可能)

© 2019 Japan Freight Railway Company

**トラック用アプリ実現予定機能②**

② コンテナの位置情報参照機能

「全体図」、「詳細図」の2画面で目的のコンテナの位置情報を提供

19D-XXXX の駅内位置

19D-XXXX の周辺状況

全体図でトラックと目的のコンテナ位置の相関関係を表示します

詳細図で目的コンテナ周辺のコンテナ留置情報も併せて提供します  
(音声での案内も実施)

© 2019 Japan Freight Railway Company

**トラック用アプリ実現予定機能③**

③ 駅からのお知らせ機能

IT-FRENSで入力された「駅からのお知らせ」をアプリで参照可能

駅担当者

東京貨物ターミナル駅からのお知らせ

- ・XX番線付近で工事を実施しています。ご注意ください。
- ・XXXX列車が遅延しています。
- ・毎日XX時～XX時は荷役番線が混雑します。

トラックドライバーはアプリから、駅のお知らせを参照可能です

駅の担当者が、トラックドライバー向けのお知らせ情報を入力します

© 2019 Japan Freight Railway Company

**トラック用アプリ実現予定機能④**

④ コンテナ持出・持込時間の予約機能

トラックドライバーの駅入構後の待ち時間削減のため「持出・持込予約機能」を実現

① 持込予約

② 予約状況確認

③ 入構登録

ドライバーは、アプリから伝票のバーコードを読み取り「入構時間」選択、コンテナの持出・持込予約を行います  
IT-FRENSからの予約登録も可能です

予約状況(駅の混雑予測)は、アプリ・IT-FRENSの両方から確認可能です

駅到着後、現在と同様にドライバーシステムから作業完了報告を行ってください

© 2019 Japan Freight Railway Company